

R 8 編入 解答例

1

問1 ①ジュネーブ ②ヘルシンキ ③リスボン

問2 2 : 2年間または3年間

問3 3. 5

問4 使用可能な時間 : 85分

計算式 : $500 \times 10 \div 14.7 = 340L$ $340 \div 4 = 85$ 分

問5 ①滅菌潤滑油 ②4 ③6 ④尿道内 ⑤滅菌蒸留水

2

問1 3

問2 2

問3 ①100 ②120 ③5 ④6

3

問1 3

問2

【解答例】

- ・呼吸は吸気より呼気を長くするよう説明する。
- ・動作と呼吸を同調させるよう指導する。
- ・腕を上げるときは息を吐きながら行うよう指導する。
- ・口すぼめ呼吸を行うよう指導する。
- ・腹式呼吸を行うよう指導する。

4

問1 任意入院

問2

【解答例】

早期離脱症状 : 頻脈, 頻呼吸, 発熱, 発汗, 振戦, 不眠, 興奮, 幻視を中心とした幻覚, てんかんなど。

問3

【解答例】

1. アルコール依存から離脱できるように A さんが病識を持てるように支援する。

根拠 : A さんの病識がないと, 退院後, アルコール依存に戻る可能性があるため。

2. アルコール離脱症による発汗や頻脈、手指の震え、不安、焦燥、抑うつ、振戦せん妄などの症状に対応し、心身が不安定な時期を乗り越えられるように支援する。

根拠：これまでの生活では体験したことのない症状が起きやすく、時には、アルコール幻覚症のために、幻聴や被害妄想、自傷や他害などの問題行動が生じることもあるため、Aさんが強い不安や不満を抱いたり、アルコールを再開する危険があるため。

3. 家族関係を確認し、家族のこれまでの苦勞を傾聴し、認める関わりをすると共に家族の理解を促す。家族が、これまでのAさんとは少し違うと期待できるよう、Aさんに断酒を継続して家庭での人間関係を維持できるように、断酒会などのセルフヘルプグループへの参加などを進める。

根拠：Aさんのこれまでの言動から家族との関係がうまくいっていないことが想定され、退院後の居場所づくりや支援を得られることがAさんのアルコール依存からの立ち直りに影響するため。

5

問1

【解答例】

- ① 市町村（または特別区）
- ② 50
- ③ 50
- ④ 1
- ⑤ 2
- ⑥⑦ 以下の疾患から記入する。

特定疾病 16 種類

●末期がん	●関節リウマチ
●筋萎縮性側索硬化症	●後縦靭帯骨化症
●骨折を伴う骨粗しょう症	●初老期における認知症
●パーキンソン病関連疾患	●脊髄小脳変性症
●脊柱管狭窄症	●早老症
●多系統萎縮症	●脳血管疾患
●糖尿病性神経障害、糖尿病性腎症及び糖尿病性網膜症	
●閉塞性動脈硬化症	●慢性閉塞性肺疾患
●両側の膝関節または股関節に著しい変形を伴う変形性関節症	

- ⑧ 主治医意見書

問2

【解答例】

訪問看護 訪問介護 通所介護 福祉用具貸与 など。

6

問1 2

問2 4

問3 1

7

① k ② a ③ d ④ o ⑤ j

8

問1 4

問2 3

問3

【解答例】

- ・栄養不良，低身長，原因不明の脱水が見られる。
- ・皮膚や衣服が不潔である。複数の内出血や熱傷痕がみられる。
- ・外傷や骨折が多発している。性器や会陰部に外傷がある。
- ・予防接種，乳幼児健康診査を未受診である。
- ・診察に対して恐怖心や警戒心が強い。無感動，無反応である。
- ・食事や排泄に関する異常行動が多い。
- ・保護者の顔色を伺う。

問4

①× ②× ③× ④○ ⑤×

9

問1 4

問2 4

問3 3

問4 1

問5 3

【解答例】

- ・産前産後の休業の規定

産前6週間は請求により休業できる。産後8週間は就業禁止である。ただし産後6週間を経過した女性が請求して，医師が支障ないと認めた業務に就業させることは差し支えない。